

本会議における一般質問の議員1人の持ち時間は、答弁も含めて75分以内と決められています。

# 税の流出



かさはらひでこ 笠原英彦議員

魅力ある返礼品で小川町を知ってもらいたい

**Q** 令和元年度受入れ実績は542万3974円となつていますが、住民税の流出額は幾らか。

**A** 税務課長 令和元年度個人町民税のふるさと納税に係る控除額は、1790万6887円です。

**Q** 寄附で税金が流出、75%を地方交付税で補填されるルールがあるが、金額ベースで交付金額は幾らか。

**A** 税務課長 令和元年度中に他自治体にふるさと納税した分の減収分は、令和3年度に措置され、理論上は1343万円となります。

**Q** 事業内容を具体的に示して賛同者から寄附金を集める「ガバメントクラウドファンディング」の活用状況は。

# ふるさと納税の目指す姿は

答弁 返礼品の拡充と寄附金の増加を図る

**A** 政策推進課長 現在、活用を検討を行っているところです。

**Q** ふるさと納税に対して、課題と当町の目指す方向性は。

**A** 政策推進課長 収支として赤字となっており、課題と考えています。町として、収支をプラスに転換できるよう、体験型の返礼品の拡充に取り組み、関係人口の増加を図り、小川町ファンを増やしていきます。



返礼品の数は63件増加して、現在122件となりました。(写真は一例)

# 支え合う



いぐちりょういち 井口亮一議員

縦割りは解消され、本当にワンストップ

**Q** 社会福祉法の一部改正とはどんなものか。

**A** 健康福祉課長 市町村が、それぞれの実情に応じて包括的な支援体制を整備するため、①断らない相談支援、②社会とのつながりや参加支援、③支え合う関係性の育成支援、を一体的に実施する事業を創設するものとされた改正のことです。

**Q** この法の一部改正によって、町は福祉サービス領域の縦割り解消や複合的な問題に、ワンストップで対応できるなどサービス向上はできるか。

**A** 健康福祉課長 町としては、重層的支援体制を整備し、法改正の趣旨を踏まえて、関係各課で連携し、住民サービスの向上に努めていきます。

# ワンストップでの対応は

答弁 住民サービス向上に努めていく

**Q** 国が今まで以上に、町の取組を財政支援するなどの期待はできるか。

**A** 健康福祉課長 新たな事業を創設し実施した場合、町は国及び県から、「重層的支援体制整備事業の実施に要する費用に充てるための交付金」が受けられるものとされています。また、交付のしくみは手挙げ方式とされており、積極性が重要です。



ワンストップで丸ごと相談できますか。

# 子育て



たなかてるこ 田中照子議員

女性活躍と若者の定住には子育て支援が大切

**Q** 8月6日の町内保育園合同園長会議で、共通の課題として意見交換した内容は。

**A** 子育て支援課長 「少し熱がある児童を預けていいか」など、児童や保護者の個々の状況等を考えると迅速な判断が難しい、という課題が出されました。この件に関して、一定の基準があればいいとの意見がありました。コロナが終息していない中、近隣の自治体・保育園等を参考に、目安的なものを考えていきたいと思っています。

# コロナ禍の保育園の課題は

答弁 体調不良児の受入体制に基準が必要

**Q** コロナ禍での開設となるが、専門的知識を有する方のアドバイスを受け、町が実施法人と一緒に進めていく。

**A** 子育て支援課長 保育園単独で実施するよりも、医療機関と連携で実施するところが多くなっています。町も実施法人と一緒に進めていきます。

**Q** 「病児・病後児保育」の具体的な運営方法と対象年齢は。

**A** 子育て支援課長 実施法人と病児対応型で協議をしています。対象年齢についても、今後、実施法人と検討していきます。



保育園での三密は避けられない。コロナ禍での保育現場にエール。

# 移住促進



やまくちかつし 山口勝士議員

働き方の変化で小川町を見直してほしい!

**Q** 国による、「ネット環境・対策」が一気に進む。町の活性化策を早期に見直し、ただちに具体的な施策を。

**A** 政策推進課長 今議会に関連予算を上程した「新しい働き方創出サテライトオフィス等整備事業」を進めます。駅から5分という好立地にある歴史的建造物「石蔵」を改修し、サテライトオフィスとともに、「ワーキングスペース等を整備します。

# コロナ禍でのチャンスを

答弁 テレワーク等の変化を地域活性化に

**A** 政策推進課長 2期目の「若者未来会議」は、新たな15人で自由闊達な議論を展開しています。また若手の意欲ある職員員の「公共施設マネジメント検討会議」は、公共施設の課題解決や公共空間活用、民間活力活用の導入と、課をまたいだ検討を進めています。

**Q** 急激な変化や、新しい技術という点では、若い力に大いに期待するが。

**A** 政策推進課長 「都内だけでなく、快適に仕事ができる」という環境のよさを広くPRし、新しい働き方を求める人や移住・定住の受け皿を創出します。



駅から5分の好立地、歴史的な石蔵が、保存も兼ねて大きく変化。



小川町議会だよりは

写真に「タワフル」

写真は編集委員が「撮る」「選ぶ」。キャプション(写真説明)も工夫します。

つづく!

日曜大工をして、終わってからの一杯が最高! (O・Mさん 65歳)

ネットショッピングと週末の宅飲みが楽しみ♪ (S・Nさん 45歳)

自転車を始めました。奥さんから「足が太くなったね」と言われ嬉しい (Y・Yさん 40代)

買い物、ドラマを観る、友人と電話、美味しいものを食べる! (M・Kさん 23歳)